



「おはよう」と声を掛ける上野選手(中央)と河合選手(右)

TOPIC 4  
笑顔で元気よく「おはよう」

7/7  
クレインズ選手があいさつ見守り活動

アイスホッケーチーム「ひがし北海道クレインズ」のあいさつ見守り活動が茶路小中学校で行われました。この日は、上野拓紀選手と河合卓真選手の2人が、校門前で児童たちに「おはよう」と声を掛けました。上野選手は「朝から元気にあいさつをすると気持ちがいいので、大人になってもあいさつができる人になってほしい」、河合選手は「あいさつはコミュニケーションのきっかけにもなるので、これからも元気よくあいさつしてほしい」と話していました。

TOPIC 5  
田中君(白小6)と清野さん(白中3)が最優秀賞

7/9  
第43回白糠町少年の主張表彰式

第43回少年の主張の表彰式が役場で開かれ「小学生の部」最優秀賞の田中涼晴君(白糠小6年)と「中学生の部」最優秀賞の清野椿さん(白糠中3年)に川島眞澄教育長から表彰状と盾が贈呈されました。

田中君は「みんなの暮らしをよくするために」と題して、障がい者や高齢者が住みやすい町にするための提言を、清野さんは「地球の未来のために」と題して、食品ロスについての考えを発表しました。清野さんは7月26日の釧路管内大会に町代表として出場します。



表彰状と盾を手にして受賞を喜ぶ田中君(左)と清野さん(右)

TOPIC 6  
持っている力を十分発揮

7/10  
白糠養護学校第41回運動会

白糠養護学校(仲條正輝校長・児童生徒12人)で第41回運動会が開催されました。昨年は新型コロナウイルス感染症により中止したため、2年ぶりの開催です。この日は霧雨模様のため、同校体育館での開催となりましたが、高等部をはじめ、個人競技や団体競技などで生徒たちは自分が持っている力を十分発揮し、会場を盛り上げていました。全校競技の「あけてびっくり!はこたま」では、生徒たちがたくさん球が入っていきそうな箱を選ぶ姿に、会場から拍手が湧きました。



中学部競技「大人には負けないぞ!絆力リレー」の様子

TOPIC 1  
トドマツ200本を植樹

6/18  
白糠町植樹祭

町緑化推進委員会(石田正義委員長)が主催する「白糠町植樹祭」が庶路学園造成地で行われ、トドマツの苗木200本が植えられました。植樹祭には、同委員会の委員やくしろ西森林組合など17人が参加。深さ30cmほどの穴に、苗木を一本ずつ丁寧に植え、スコップで土をかぶせて踏み固めました。松永重信さん(82歳)は「植えた苗木が立派に育つのを見守っていきたい。成長が楽しみです」と笑顔で話していました。



トドマツの苗木を植える参加者

TOPIC 2  
小学生6人が健闘を誓う

6/21  
バドミントン全道大会出場報告

バドミントンの北海道小学生ABC大会(6月26日~27日、深川市)に出場する白糠小学校の松下一誠君(5年)と五十嵐悠馬君(4年)、田中悠晴君(2年)、庶路学園の木下晴楽さん(6年)と小信海夏斗君(4年)、茶路小学校の栗山泰地君(4年)が役場を訪れ、川島眞澄教育長に全道大会での健闘を誓いました。

松下君は地区予選が免除される推薦選手として、他5人は4月24日に根室市で行われた地区予選を勝ち抜いての出場となります。



左から(前列)田中君、五十嵐君、小信君(後列)栗山君、松下君、木下さん

TOPIC 3  
シソの苗販売でまちをPR

6/30  
シソの苗販売会

特産品であるシソで町をPRする「シソの苗販売会」を行いました。シソの苗は農業生産法人株式会社大前産業(大前祐二社長)が栽培した「ちりめん赤シソ」「ちりめん青シソ」「大葉青シソ」の3種類。釧路市から訪れた伊藤ひとみさんと秋山亜美さんは「白糠町はシソが有名なので、今回初めて買いに来ました。すごく立派なシソで驚いています。楽しみながら育てたいと思います」と喜んでいました。今年は41人の方に588株のシソの苗を販売しました。



シソの苗を購入した伊藤さん(中央)と秋山さん(右)